

NPO法人

久喜の自然を愛する会

会報

NO. 25 2015年12月

会のモットー

- 1 足元から自然を学ぼう
- 2 ^{いま} 現在 ある自然を次の世代に残そう

★★活動の記録（写真版）★★

★ふれあいウオーク「くりはし」 2015年10月4日(日)



記念撮影



南栗橋駅集合



資料に載っていますね



これなんですか



熱心に耳を傾ける参加者



街路樹下の野草

★ふれあいウォーク「中土手（２）」 ２０１５年７月３日（日）



菖蒲公園駐車場 雨の中の記念撮影



★ふれあいウォーク「吉羽天神（２）」 ２０１５年９月４日（金）



宮代運動公園で記念撮影





ヘクソカズラ！美しい花ですね



観察会が終わって

★秋の野草観察回 2015年10月3日(土)

共催：太田小地区コミュニティ協議会
：NPO法人久喜の自然を愛する会



吉羽天神で記念撮影



マルバルコウソウ

タカアザミ

★ふれあいうオーク「蔵の街栃木市と周辺の散策」

2015年10月23日(金)



出流ふれあいの森で記念撮影



蔵の街を遊覧したモデル船の前で



岩下食品工場見学前の説明



そば処さとや(昼食)



片角川に架かる橋上で

★キクイモ掘り

2015年12月7日(月)



収穫物を前に記念撮影



ミゾコウジュの移植



掘って掘って、また掘って

★野草保護活動

6月

★ 東側 10名



★ 西側 7名

7月

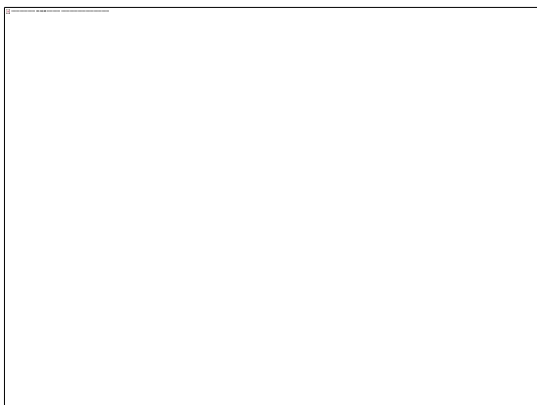
★ 東側 9名



★ 西側 3名

8月

★ 東側 6名



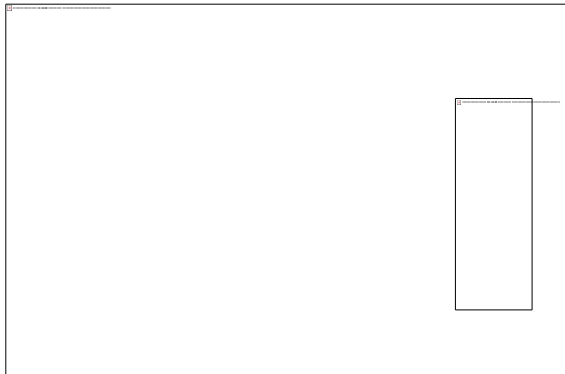
8月

★ 西側 5名



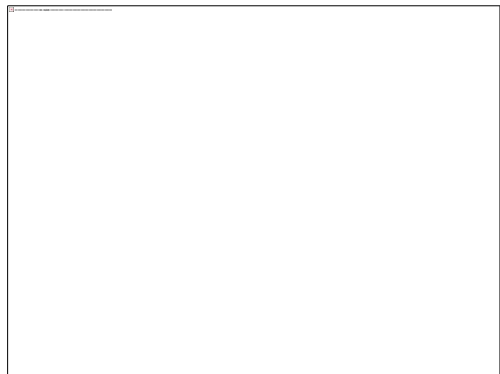
9月

★ 東側 6名



10月

★ 東側 4名

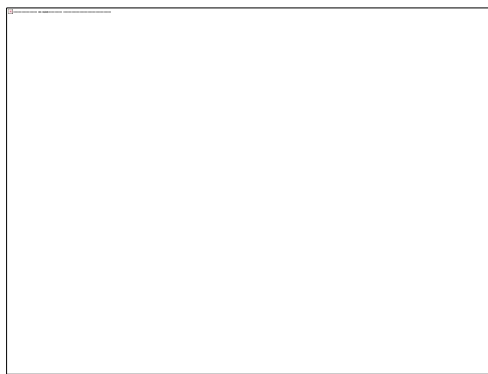
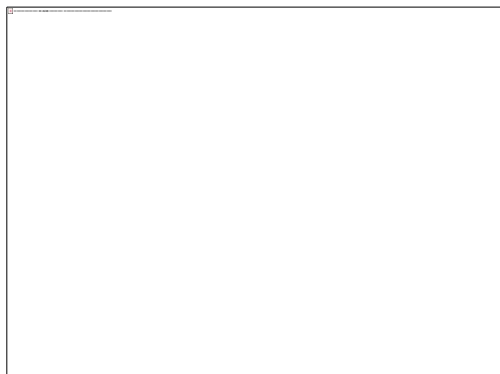
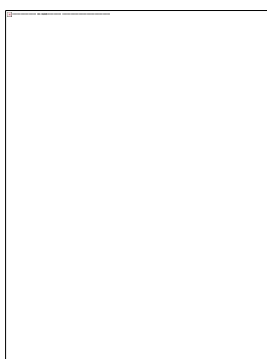


★ 西側 スズメバチのため中止

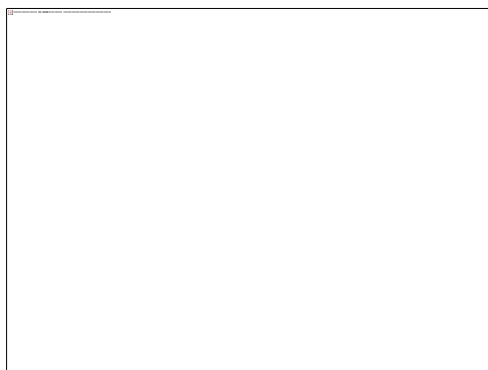
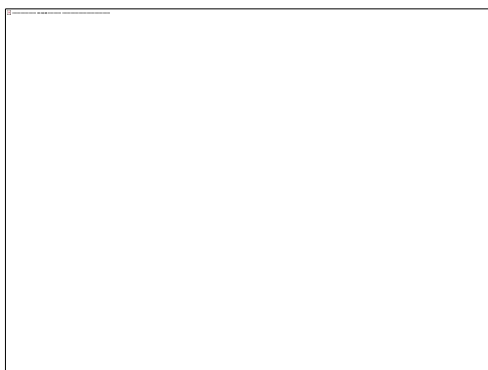
★ 西側 6名

★放課後子供教室教室

7月4日 太田小学校



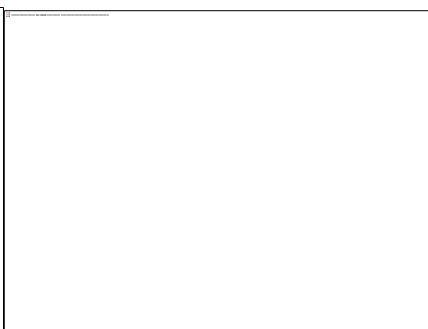
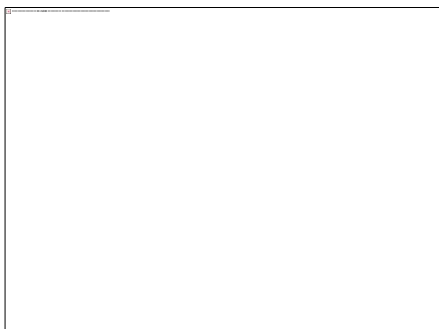
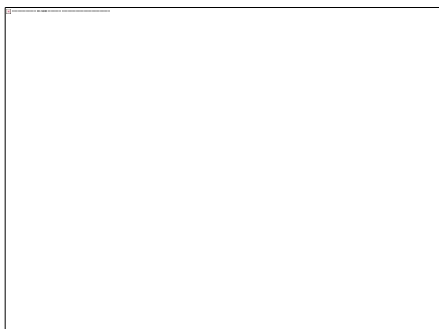
7月11日 本町小学校



7月13日 東鷲宮小学校



7月19日 太田小学校



巻頭言

本会の多様な活動を広げ更なる発展をめざそう（1）

NPO法人久喜の自然を愛する会 代表 藤浪康義

本会が活動を開始してから11年目に入っている。

最初は野草の名前を覚えたい、仲間と楽しく交流したい。そんな趣味の会から出発した本会の活動ではあるが、その後の会員の認識の深化とともに活動も多様化してきている。

余りの変化にとまどっている会員も多いのではないだろうか。そこで今回は現在の会の活動内容を整理して簡条書きにしてみよう。

1、野草観察ふれあいウオーク

本会の活動の原点で、年4～5回実施している。毎回「広報くき」で広く参加者募集をしている。

2、野草保護活動

4月～10月まで月1回、東は古利根川右岸、西は中土手の2か所の保護地区で近辺の絶滅危惧種等の保護活動をおこなっている。

3、野草写真展

毎年3月1日～7日に久喜中央公民館で野草だけの写真展をおこなっている。

その後老人ホーム「久喜の里」でも同じ写真の展示を行っている。

4、野草調査

埼玉県みどり自然課からの委嘱事業で、毎月1定点観測を回行っている。

5、七草粥の会

1月6日に実施している。

6、ゆうゆうプラザへの参加

市内3校で「自然へのふれあい」部門に参加して、子供たちに自然に親しむ機会を与えている。

7、会員限定のバスハイク

会員の見識を広め、交流を深める集いである。

他に、年間反省会でも交流を深めている。

8、太田小地区コミュニティ協議会での自然観察会の実施

本会は事務所の所在地の太田小地区コミュニティ協議会に所属して、地区独自の観察会を実施している。

9、年2回の会報の発行

こうした多様な活動を展開をしていくには、実に多くの労力が必要である。御多聞にもれず、本会も高齢化が進み多くの問題を抱えている。

次号ではその問題点と解決への道筋を探ってみたい。

★★活動の記録★★ 2015年前半～2015年後半

★ふれあいウォーク「中土手（2）」 2015年7月3日（金） 9時～

久喜菖蒲公園駐車場に集合。天気予報では今後数日間良い天気が見込めないとのこと。今回は雨天順延せず実施されました。早朝からの雨にも関わらず参加者は講師を含め18名（一般参加は3名）でした。長靴、カッパ着用の参加者も見られました。

屋根のある休憩舎の下にて長須先生より「資料に載っている野草はここで実際に観察できるものです」との説明がありました。その後、数台の会員の車に分乗し、中土手近くの道路に移動しました。土手の上は河川事務所により草刈りがされて歩きやすくなっていました。

ヤブカンゾウの保護地では、色鮮やかな花々が迎えてくれました。草丈が高く、たくさんのつぼみをつけていました。花見にはちょっと早いようでした。ウマノスズクサはありましたが、ジャコウアゲハは飛んでいませんでした。ワレモコウ・アキカラマツ・オニユリの花はまだ咲いていませんでした。

田んぼのヒメミカンソウと絶滅危惧種のヌマトラノオは除草剤により大部分枯れていました。運よく一部が残っており何とか確認できました。

最後は出発地の休憩舎に戻りました。反省会なしで集合写真を撮り、11時半に解散しました。

《当日の主な野草》

ネジバナ・ヤブカンゾウ・ヌマトラノオ・ハンゲショウ・ワレモコウ・ヒルガオ・カラスムギ・セイバンモロコシ・イヌゴマ・オニユリ・ウマノスズクサ・ガガイモ・イヌタデ・イシミカワ・アレチノギク・ユウゲショウ・アメリカイヌホオズキ・ヒメミカンソウ・マメグンバイナズナ・ナワシロイチゴ・コヒルガオ・ヤブガラシ・キレハノブドウ・ニワゼキショウ・タケニグサ・アキカラマツ・アゼナルコ・アレチヌスビトハギ・イタドリ・オオニシキソウ・オオブタクサ・オッタチカタバミ・カナムグラ・アキノノゲシ・クサギ・クズ・ケキツネノボタン・コセンダングサ・サナエタデ・ソクズ・タカサブロウ・ノボロギク・ハルノノゲシ・ヒレアザミ・ホウキギク・ホソアオゲイトウ・ミゾソバ

★ふれあいウォーク「吉羽天神（2）」 2015年9月4日（金） 9時～

自然と人とのつながりを楽しみに、21名の参加でした。毎年続けている、宮代運動公園駐車場をスタートし吉羽天神へ向かい、そこから野草保護地へ、そして宮代運動公園脇の小高い広場まで2キロメートルを2時間かけてのコースの観察会でした。野草の保護地を中心に多数の野草を、顧問の長須講師の解説を聴きながら観察して歩きました。いつも講師から、実物を遠くから眺めての観察ではなく、実物を手に取り触れ、肌触りや鼻で匂いを嗅ぎ、目を見開きよく観察する事、又、カタカナ読みを漢字で表す事で憶えやすくなる事（例でヘクソカズラ→屁糞葛）でした。野草は種類が多く憶えるのは大変だが、一つの機会に一つだけでも憶える様にと指導を受けています。私は今回のウォークでは「ミズワラビ」が記憶の深い所に残りました。「ミズワラビ」は絶滅危惧種に指定されている野草であるが、農薬などの利用減からか、環境が良くなり最近多く観られる様になった事。早春のツクシと同類ある事を知りました。又、絶滅種から外れた様で「お漬し」にすると美味しいと教えて頂き、早速、夕食に美味しく食しました。口をも動員しての記憶でした。大変勉強になり楽しい観察会でした。

《当日出席者の主な感想》（文責会田）

玉川さん 今日収穫がいろいろあった。3回目日本保護大賞に応募されるのでしょうか？

応募します。(藤浪会長)

- 篠原さん 初めての参加です。地元です。始めて参加して野草にはいろいろあるということが分かった。
- 和泉さん いつもお世話になっています。今回は期待している以上にあった。アレチヌスビトハギがよかった。
- 簾内さん アレチヌスビトハギがたくさん咲いていて良かった。
- 宮崎さん 始めて参加しました。鷺宮に住んでいます。これまで雑草の分類ができなかった。名前があるということと、くさい花があるということが勉強になった。
- 鈴木さん 久喜東三丁目です。ふれあいウオークの毎回ごと一つ覚えようとしている。今日覚えたのはカニクサです。木にからんで3mになる。始めて知った。
- 三浦さん いままでどんなのが野草か分からなかった。今日分かった。家ではオヒシバ、メヒシバ、コニシキソウなど雑草を取っていた。雑草と見るのと自然の中で見るのは違った。
- 古澤さん 何回も来ている。中々覚えられない。今日はタササブロウ、ヘクソカズラ、ヒルガオに会えてよかった。ミズワラビをもらった。今晚食べます。
- 木下さん 古久喜 季節によっていろんな花があるのが感動した。ミズワラビには苦味があった。ツルマメ、ヤブマメが勉強になった。
- 中村さん 幸手にいます。幸手の愛護会に入っています。近いと思って参加した。
- 間宮さん 広報をみて参加した。絶滅危惧種があるのが分かった。このへんは行政の堺がない状況です。宮代でたんぼの手伝いをしている。コナギを見たがあの際は引っこ抜いた。また機会があれば参加したい。
- 長谷川さん 久喜東です。カブトエビをフェイスブックに載せたらいろいろ反響があった。今日はオオオナモミを教えて貰った。くつつく雑草を覚えたい。
- 春尾さん 3年目になった。中々収穫がない。予習は無理なので復習をやりたい。
- 上原さん ミズワラビ、コナギを覚えた。今晚おひたしにしたい。この会にはデンジソウ(鷺宮)の時に入った。
- 齊藤さん 天気がよくなり暑くはなつたが楽しい時間となった。何回来ても中々覚えられない。イヌビエなどは分かりにくい。ミズワラビ、是非改めて採取して食べたい。コナギは紫の花がよかった。
- 藤浪会長 天気が心配だったが心がけがよく、よくなった。楽しく行ってこれで良かった。
- 長須顧問 皆さんから、いいおはなしを貰った。順調に行き、スタートに関わった者としてうれしく思った。ヒメミカンソウは国産、コミカンソウは外来、ゴウシュアリタソウ等自宅では年中刈り取ってる。今日はスカシタゴボウがなかった。ミズワラビはシダ植物、初めに孢子が出てそれから葉が出る。写真は孢子葉、成長すると栄養葉。最近農薬を止めているのでミズワラビは増えている。

★秋の野草観察回 2015年10月3日(土)

共催：太田小地区コミュニティ協議会
：NPO法人久喜の自然を愛する会

春に続き2回目の開催です。当初、親子での参加の予定でしたが、学校側の都合により、子供の参加が無く、17名の参加となりました。集合場所の吉羽天神から野草保護地を周回する2時間のコース。ナキリスゲ、アカネの観察に始まり、田圃道に沿って、足元の花々を確かめながら歩きました。春に参

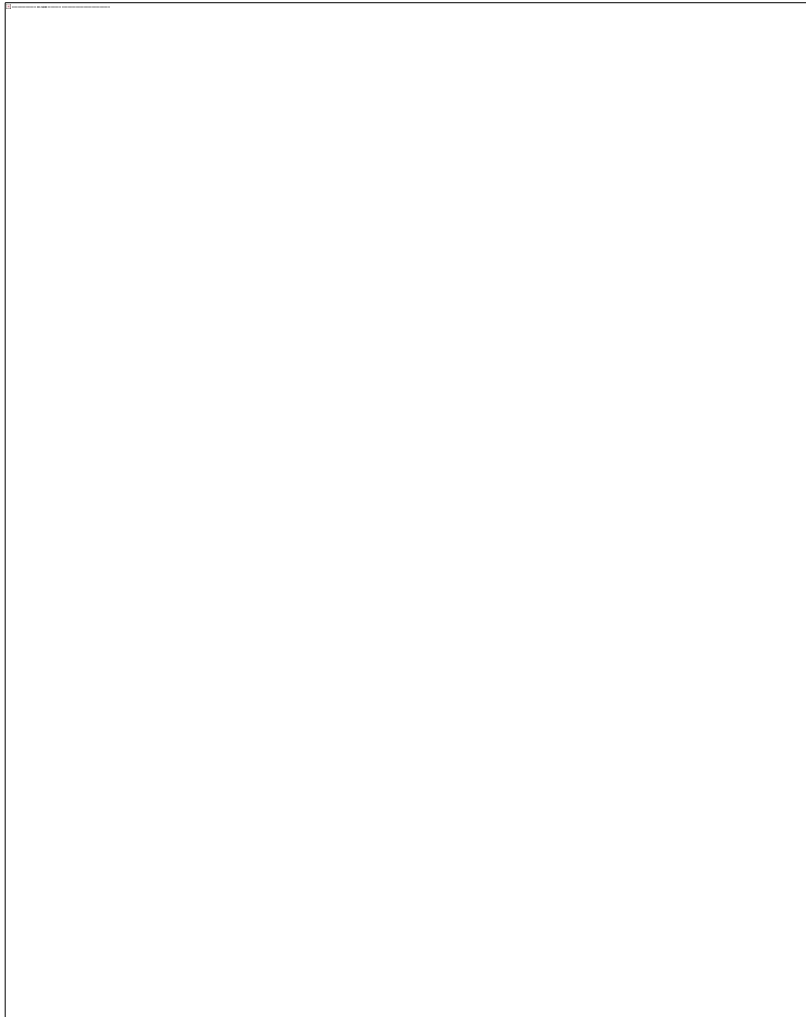
加した人から、季節の違いによって、植物の種類がこんなにも変わるものかという驚きと、歩いていける場所に意外に沢山の種類の野草があるものだという感想をいただきました。

秋の花は地味なものが多いといわれますが、コスモスやマルバルコウソウ、アキノノゲシ、保護地のフジバカマなど、どうしてどうして賑やかなものです。また、コナギやトキワハゼ、クマツヅラなどの紫系、イヌタデやアカバナなどの赤系、また、タンポポやホトケノザなど春を彩る花も見られました。

協議会役員の方が、今後もこのような観察会を是非開催していきたいとのことでした。

なお、本会からの参加は藤浪、松本、木下の3名でした。

平成27年11月13日 埼玉よみうり記事



★ふれあいウォーク「くりはし」 2015年10月4日(日) 9時～

爽やかな秋晴れ微風のもと、東武線南栗橋駅西口集合の、初の「くりはし」ウォークでした。集合1番乗りは藤浪会長、次いで長須顧問、その後続々「おはよう、こんにちは」の笑顔の集合でした。23名(内新人9人)と多く人が集い、「自然とふれあい、人とのふれあい」を楽しみたいとの想い一杯でした。

藤浪会長からは、去年は悪天候で中止となったため、栗橋では初の観察となり、参加者数を心配したが、多数の参加があった旨の、喜びの表明がありました。

長須講師・顧問からは、本日用意して頂いた“ふれあいウォーク「くりはし」”資料製作者への感謝を

込めながら、「野草写真と野草一覧の資料をもとに、これから幾つの野草と出合えるかチェックして歩きましょう」との話があり、皆真剣な面持ちでのウォークとなりました。駅から西へ500メートル程の大きな公園を中心とする観察でしたが、歩き初めて早々の歩道や歩道脇の空地で「カルカヤ」「アキノエノコログサ」と相次ぐ発見があり、その都度「写真の3番」「表の11番」と資料と照らし合わせての進行で、参加者一同、栗橋の自然の豊かさを見た思いとなりました。中には9月22日（火）の撮影時に咲き誇っていた「ヒガンバナ」が、何処にも無い事に気付き、季節の移ろいの早さを互いに実感したものです。9時10分スタートし7000歩ウォークし、11:50分公園で参加者の感想を頂き、多くの野草との出会い、人との触れ合いに満足し閉会となりました。

《 当日出席者の主な感想 》（文責会田）

- 清野さん 初めての参加です。畑の草が邪魔でしたが見なれた草がたくさんあった。名前のある草がたくさんあると分かった。
- 落合さん 写真展で会を知っていたが始めて参加した。長須先生はラジオを聞いていたので知っていた。今日は勉強になった。
- 石井さん 初参加です。カゼクサ、ウシクグを知った。
- 並木さん 栗橋で農家をしている。めずらしい草が家にもあった。
- 小島さん 2回目です。知らない名前ばかりの草でした。大分覚えた。
- 矢野さん 田んぼをやって覚えている。草の名前を覚えて良かった。
- 和泉さん 非常に疲れた。イボクサ、オモダカ、オニノゲシ、ヒガンバナ以外全部あった。
- 早坂さん タカサブローがよかった。
- 簾内さん 散歩で野草を覚えています。
- 亀井さん 南栗橋に住んでいます。身近なところで絶滅危惧種がなくなっていることにびっくりしている。野草をあらたに覚えた。ここ来なければ覚えられないのがあった。良かった。
- 春尾さん もっとがんばります。
- 川田さん はじめてです。いろんな野草と出会えてよかった。又覚えて良かった。
- 滝本さん 実にいい観察会です。鷲宮から来ました。説明されなくては何が何だか分からない。家の前にノギがある。
- 木下さん 草の名前をいろいろ覚えた。
- 齊藤さん 池でアサザが見えた。ハサミグサ（ヤハズソウ）が良かった。
- 平尾さん オグルマ、ヨメナがよかった。
- 宮川さん 食べるほうに関心があった。エノコログサ食べることに挑戦した。食べないほうがよい。たくさん勉強になった。
- 藤浪会長 去年は台風で中止になった。今日は天気でよかった。野草に関心がある人が集まったと思います。一つは覚えて下さい。

★ふれあいウォーク「蔵の街栃木市と周辺の散策」

2015年10月23日(金)

去る10月23日(金)秋晴れのもと藤浪会長をはじめ参加者17名をのせてバスは午前8時に久喜駅東口を出発しました。

栃木市は、朝廷からの勅使が日光東照宮へ毎年参向するようになり、その勅使を例幣使ということから、通る道を例幣使街道と呼ぶようになりました。栃木はこの街道宿場町となり発展のきっかけになり

ました、その原動力となったのは巴波川（うずまがわ）の舟運であるといわれています。

まず、最初の目的地は「岩下食品工場」の見学です、岩下の新生姜（しんしょが）は近所のスーパーでもよく見かけるヒット商品です、原料の生姜は台湾の気候が適しており、現地で栽培から収穫まで一貫しててがけ、この栃木工場で商品化して全国へ出荷しています。工場見学ののち、いろいろな生姜製品を試食させていただきました。

出流ふれあいの森は紅葉には少し早かったようですが、美しい自然に囲まれた森林公園です。約1,700本の樹木や15種11,000株の草花を楽しむことができます、公園内には柿や柚子の木があって、遊び心を発揮し、おみやげに少し頂戴した皆さんでした。

そば処さとや

出流山は昔から日本そばが有名で、ふれあいウオークの楽しみの一つでもありました。店では一升、二升と升単位で注文します。ちなみに一升で大ザル4人前です。てんぷらを仲良く分けあって満腹な昼食でした。

蔵の街栃木市

明治16年までは栃木県庁の所在地でしたが、その後宇都宮市に移転させられました。

巴波川（うずまがわ）の舟運は江戸との交易で、江戸からは日光御用の荷や塩などが運ばれ、栃木からは木材や農産物が運ばれました。栃木の商人達は隆盛を極めたといわれます。

その豪商達が白壁土蔵を巴波川の両岸に沿って建てていきました。

その巴波川も先の台風で大被害をうけましたが、船頭の渡しも一部が回復して乗船することができました。美しい女船頭さんの民謡が耳にのこります。

★キクイモ掘り

2015年12月7日(月)

絶好のキクイモ掘り日和。キクイモの枯れた茎を切り取りとった後、キクイモ掘りが始まった。春、キクイモを植え付けるため、硬い土を掘り起こし、数日間腰が痛かった事が思い出される。キクイモを傷つけまいと、気をつけながらスコップを入れるが、時々ジャッキとした音がする。キクイモをスコップが切断した音だ。今年は10名で作業を行ったので、11時ちょっと過ぎには来年の種芋分を残し、無事にキクイモ掘りは終わった。各自、ビニール袋に詰め持ち帰った。

藤浪会長の感想としては、「今年の収穫はまあまあ、初めてキクイモを植えた頃から比べるとだいぶ収穫が減った」との事でした。

来年も頑張ってキクイモを植えましょう。

★県民参加生き物モニタリング調査

県民参加生き物モニタリング調査は平成26年5月から始め、2年計画で実施している。東地区（吉羽天神～東地区野草保護地～古利根川と中落堀川の合流地点）と西地区（中土手）に分かれ、野草保護活動日やその他の日に、毎月植物と動物の調査を行っている。

調査結果は①平成26年5月～平成26年12月までの調査データを取りまとめ、平成27年1月に県に報告。②平成27年1月～平成27年12月までのデータを取りまとめ、28年1月に県に報告する事となっている。なお、調査は平成28年3月まで行う。この調査では、野草観察を行う機会が少ない冬期を2回行うため、年間を通しての切れ目のない貴重なデータを残せるものと思います。また、調査を行う東地区は、間もなく、圏央道の側道工事と東口大通りの圏央道側道までの延長工事が始まり、道路が整備される。これにより、地域の自然環境は一変し、いくつかの動植物は数が減ったり、あるいは姿を消す可能性が高い。このような時期に、調査出来た事は非常に意義のある物と思います。

★久喜市放課後子供教室「ゆうゆうプラザ」

★久喜市放課後子供教室「ゆうゆうプラザ」

活動のまとめ（7月4日（土）～10月26日（月）

記載者 宮川

実施日	学校名	会からの出席者名	参加生徒数	活動内容
7月4日 （土）	太田小	長谷川・斉藤・平尾・藤浪・井上・宮川の6名他に2名の助っ人の計8名	生徒20名プラス父兄とサポータ15名の35名	《ザリガニ釣り》都会地の住宅地で学校周辺にはザリガニのいる田圃や小川が無く、事前に鷺宮桜田でザリガニを採取して持込んだ。校庭内の溝にブルーシートで臨時の堀を造り楽しみました。子供と大人の内8割がザリガニ釣り初体験で、釣れた時には感動的でした。
7月11日 （土）	本町小	藤浪・斉藤・木下・花野・宮川の5名に、4名の助っ人入り9名で対応	生徒23名プラス父兄とサポータの43名の多数で	《ザリガニ釣り》徒歩15分の口チャース脇の稲荷台用水で実施。自然の川で良かった。ここでもザリガニ釣りの体験者は2割と少数で、もっと自然近づく活動を増やし感性を磨くと良いと思った。
7月13日 （月）	東鷺宮小	斉藤・会田・上原・花野・宮川の5人と1名の助っ人の6人	生徒6人と父兄と幼児10人	《ザリガニ釣り》昨年体験した生徒と発参加の生徒が混在していたが、体験は確かなもので釣り道具用意したり、昨年と同様の釣り場で率先して行動をリードしていた。自然が近くに存在する豊かさかな。
9月19日 （土）	太田小	長谷川・塚原・藤浪・平尾・松本・宮川の6人	生徒20人と父兄15人の35人	《どんぐり遊び》吉羽公園で木の実を採集、教室に持帰った。事前意に用意してきた「マテバシイ」の茹でたもの食した。「栗の様に美味しい」と団栗が食べられる事に驚く。マテバシイにてブローチ作りやクヌギの実でコマを作り、コマ回し競争をおこなった。
9月28日 （月）	東鷺宮小	会田・上原・花野・宮川の4人	生徒6人と父兄	《どんぐり遊び》持込んだ「マテバシイ」の茹でたもの食す。「美味しい」。クヌギでコマ作り、回し時間競争。ムクロジの実で腕輪や根付を作った。
10月3日 （土）	太田小	塚原・長谷川・宮川の3人	生徒15人と父兄10人	《自然観察》初めに、「ハキダメギク・シロツメクサ」を見つけるようにとテーマを与え、校庭内の野草を観察して一周、幾つ探せるかと競わせた。持帰り名前の由来や効能等勉強した。カヤツリグサを用い「カヤ」造りをした。草の実の知恵として、風を利用するもの虫の力を利用する物、草の知恵に感動。

10月26日 (月)	東鷲宮 小	塚原・花野・上原・ 宮川の4人	生徒7人と サポーター4 人	《野草の観察》塚原さんから「ハキダメギク」「カタバミ」を探すようテーマを受け、校外へ。「カタバミ・ハキダメギク」を持帰り、実験。カタバミの葉で古い10円硬貨を磨いてもらう、たちまちピカピカの硬貨に。酸が含まれること、カタバミの葉を食べる蝶「ヤマトシジミ」の存在を話し、カタバミとヤマトシジミとの生態を伝えた。外来種の「オオブタクサ・・・セイバンモロコシ」の観察を次代を背負う事生徒に託した。
---------------	----------	--------------------	----------------------	---

★新入会員情報 (取扱注意)

清野芳子 090-2532-4182

以上1名が我々の仲間になんて新しく加入されました。よろしくお願ひします。

現在会員数 47名

★今後の日程

七草採取	28年1月5日(火)	10時00分(ロジャース駐車場)
七草がゆの会	28年1月6日(水)	10時00分(会員は9時)太田集会所
野草写真展	27年3月1日～7日	久喜中央公民館

★編集後記

* 今年の秋は雨の日が多かった気がします。例年は9月の半ばから始まる秋の長雨(秋霖)が、盆過ぎたら始まり、9月には台風18号の影響による関東地方と東北地方の豪雨により、茨城県常総市で鬼怒川の堤防が決壊し、死者の出る災害が発生しました。

今期の冬は暖冬だそうですが、やはり冬は寒いものです。

NPO法人久喜の自然を愛する会会報 NO25

2015年12月発行

発行 特定非営利活動法人久喜の自然を愛する会

発行人 藤浪 康義

編集人 宮川 俊治

松本 春勇